

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。お盆を過ぎたとは言え、まだまだ暑い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。

最近気になるニュースがふたつありました。ひとつは、パリにあるOECD(経済協力開発機構)が発表した先進国の貧困率の順位です。日本は何と二位。貧困率の定義は国民の平均所得の半分以下で暮らしている人の割合ですが、日本は十三・五%だそうです。因みに一位は米国。こういうところは米国のマネをしてほしくないですね。

もうひとつは、英国の研究機関が発表した世界百七十八か国の幸福度の順位。国民の平均寿命や所得水準、教育制度、医療・介護・年金等の社会保障制度を同じ基準で評価して点数を付け、順位付けしたそうです。

一位デンマーク、二位スイス、三位オーストリア。上位三傑は欧州勢です。米国は二十三位、英国は四十一位。さて、日本は何位でしょうか。ちやうど真ん中の九十位。因

みに貧富の差が激しいお隣の中国は八十二位。インドは百二十五位でした。

幸福を感じない理由

幸福度が九十位になったのには理由があります。貧困率の上昇によって所得面から幸福を感じる人の割合が減る一方、社会保障制度の問題や矛盾が山積しているためです。

一昨年の年金、昨年の介護、今年の医療と、社会保障制度の改革が続いています。その内容が国民の幸福度にも影響しているかもしれません。

例えば、今年の医療改革では保険対象のリハビリ期間に上限が設けられました。疾患によって上限に差があります。骨折や心筋梗塞は百五十日、脳血管疾患は百八十日。

厚労省には「効果のないリハビリが横行し、患者も自助努力をしない」という認識があるようです。しかし、脳梗塞で体が不自由になった人が、必ず百八十日以内でリハビリが終了する保証はありません。

それを一律に、しかも機械的に「百八十日過ぎたから保険は出ません」と言うような医療制度では、国民の皆さんが「日本の医療制度って、暖かくないな」と感じ、幸福度が低下しても仕方ないと思います。

社会保障制度の改革に際して、厚労省はいつも財政的限界を持ち出します。しかし、提示される試算の内容はチェックが必要です。例えば、将来医療費の推計値。厚労省は二〇二五年度の医療費をこれまで百四十一兆円と予測していましたが、昨年になって六十五兆円へ大幅下方修正しました。誤差や修正と言える範囲を超えています。どうも恣意的な印象が拭えませんか。

小泉さんはまもなく退陣です。秋の国会では、小泉さんが五年間に行った政策の検証をシッカリと行いたいと思います。頑張ります!!



寛玉山ゾクゾクコネ

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 寛玉山近辺の名店を続々紹介します! ——
〈今回は、「大喜はきもの店」さんです〉

広小路通りから日泰寺参道を本堂に向けて進むと、左手に見えてくるはきもの屋さん、これが「大喜はきもの店」さんです。

大正時代から続く大喜さんですが、今のご主人のお爺様が創業、創業者は「大垣」出身の「喜作」さんなので、お店を「大喜」としたそうです。

大喜さんは、「千種区ではここ1軒しかない」という、下駄を手作りしてくれるお店。台、鼻緒を自分で選び、まさにオーダーメイドの下駄が手に入ります。足の大きさ、形は人によってまちまち。既製品では味わえない履き心地を楽しめることでしょう。

最近の浴衣ブームで脚光を浴びている下駄ですが、「下駄は、外反母趾にならないし、通気性も良い、大変健康的なはきもの」とご主人。皆様も日本の伝統的なはきものを見直してみたいはいかがですか? 店内では、ご主人自慢の切り絵も堪能できますよ!

大喜はきもの店 : 052-751-7900

